

## 個別支援プログラム

国家資格取得を目指しながら、社会人・施術者として必要な能力を育成するため、一人ひとりに合わせた支援を行います。そのために、アセスメントのための面談が重要です。

### 個別支援のためのコーディネートと面談

#### 1 コーディネート

学習や就労に向けて課題を抱えている利用者が適切な支援を受けられるよう、特別指導教官が中心となり各専門職と連携しながら支援をコーディネートします。

#### 2 面談

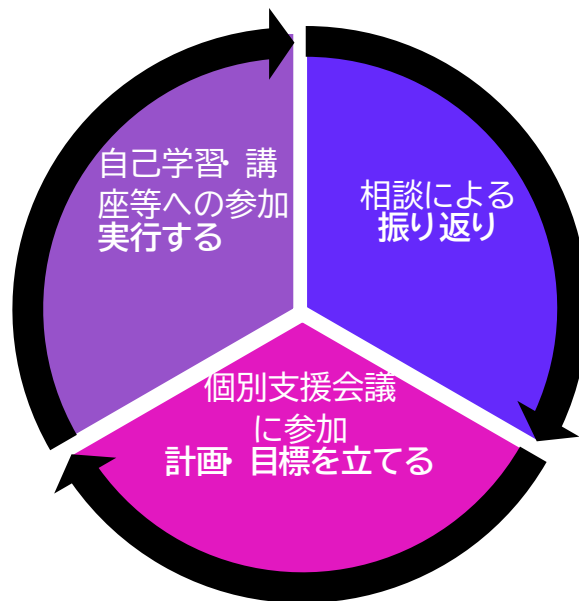
利用者の個々の課題を把握するため、特別指導教官が面談を行い、アセスメントを実施します。学習者本人と教官の双方の視点から状況を把握し、適切な支援につなげます。

### 自発的な学習を促す個別支援

特別指導教官が中心となり、利用者が目標に向かってどのように学習を進めるべきかを共に考えます。また、利用者の疑問や不安を積極的に聞き取り、潜在的なニーズを把握しながら個別支援を計画します。

福祉施設として個別支援計画書も作成しています。その計画書の作成にあたり、利用者が参加する個別支援会議を定期的に開催し、特に期末試験後の会議を重要視しています。支援に関わる専門職が参加しながらも、利用者が話しやすい環境づくりを心掛けています。

## 自発的な学習を支援する「学修」サイクル



### 3 評価・分析に基づいた個別支援プログラム

個別支援はプログラムとなるよう評価・分析を行っています。二つの評価について紹介します。

#### 個別支援のための評価・分析

##### (1) 専門基礎科目学習分析表

専門基礎科目について、定期試験や実力試験、模擬試験、国家試験までの出題範囲を経時的に記録し、学習者の正解・不正解の結果を分析します。これにより、苦手分野や問題を早期に把握し、国家試験直前には頻出問題に的を絞った対策が可能となります。また、試験問題の出題傾向を把握し、より効果的な受験対策に役立てます。

## (2) モニタリングチェックシート

学科と実技の両面から学習者の強みと弱みを把握し、積極的な「学修」を促すことを目的としています。

**学科：**基礎力、学習技術、学習習慣、基礎知識の定着、漢字の理解など。

**実技：**健康管理、態度、整理整頓、注意力、身だしなみ、衛生面など。

教官全員で項目をチェックし、具体的な支援課題と対応策を協議します。評価がばらつく項目は、支援が必要な可能性が高く、全員で共有することで課題の実態を明確にし、具体的な支援策を検討します。

### 特別指導教官とは

特別指導教官は、科目担当者やクラス担任とは異なる立場で学習者の潜在的なニーズを把握し、学習上の悩みを幅広く傾聴します。学習者が安心して国家資格の取得と就労を目指せるよう支援を行います。

---

## 個別支援に特化したプログラム

### 1 学科・実技 + 身体の自己管理

授業での学習支援に加え、保健指導専門職・管理栄養士と連携し、施術者としての基本である自己管理能力向上の支援を行います。

### 2 基礎科目フォローアップ講座

2・3年生を対象に、解剖学や生理学といった重要基礎科目の知識定着を図る講座を実施します。個々の学習レベルや希望を考慮し、個別指導、学年ごとの講座、合同講座など柔軟に対応します。

### 3 総合学習支援（漢字・語彙力・文章読解力）

1 年次初期の評価・分析に基づき、学習能力向上に不可欠な国語力を強化するため、早期介入を行います。

### 4 コミュニケーション支援

障害の受容、職員や同級生との関わり方について、臨床心理士の協力やワークショップを通じて、心理的な安定とコミュニケーション能力の向上を支援します。

---

## 事例紹介

### 事例1：疾病を乗り越え就労へ

#### Aさんの場合

**課題** Aさんは疾病により3年生への進級を目前に学習を断念しました。療養後に復帰したものの、記憶力や読解力、応用力、集中力、コミュニケーションに課題がありました。

**支援と結果** 低学年から再スタートし、以前習得した知識を活かしながら3年生に進級。個別支援として、基礎問題と国家試験の定番問題を反復演習しました。不安感に寄り添いながら支援を行った結果、単位を修得し、国家試験にも合格。卒業後は地元で高齢者向けのマッサージ業務に従事しています。

### 事例2：読解力向上による国家試験合格

#### Bさんの場合

**課題** 2年生までは単位を順調に取得していましたが、定期試験の成績は国家試験合格が危ぶまれる状況でした。Bさんの学習状況を確認すると、読解力と語彙に課題があり、教科書を十分に理解できていないことがわかりました。

**支援と結果** 個別支援として、教科書を読み込む学習支援を実施。1 週間の自己学習計画を立て、学習習慣の定着を図りました。その結果、定期試験の平均点が10 点以上向上し、B さんからは「勉強が楽しくなった」との声も。安定した学習習慣の確立により、国家試験にも見事合格し、都市部の企業への就労が実現しました。

---